

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月14日
【四半期会計期間】	第32期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社グラファイトデザイン
【英訳名】	GRAPHITE DESIGN INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山田 拓郎
【本店の所在の場所】	埼玉県秩父市太田2474番地1
【電話番号】	0494(62)2800
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理部 部長 窪田 悟
【最寄りの連絡場所】	埼玉県秩父市太田2474番地1
【電話番号】	0494(62)2800
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理部 部長 窪田 悟
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第2四半期 累計期間	第32期 第2四半期 累計期間	第31期
会計期間	自2019年 3月1日 至2019年 8月31日	自2020年 3月1日 至2020年 8月31日	自2019年 3月1日 至2020年 2月29日
売上高 (千円)	1,436,739	944,875	2,542,914
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	23,118	84,982	60,857
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失 ( ) (千円)	20,767	63,588	45,330
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	589,612	589,612	589,612
発行済株式総数 (株)	6,945,600	6,945,600	6,945,600
純資産額 (千円)	4,324,343	4,175,679	4,368,093
総資産額 (千円)	5,314,863	5,133,639	5,309,089
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	3.22	9.83	7.02
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	20.00
自己資本比率 (%)	81.4	81.3	82.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	172,327	174	127,104
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	20,294	20,376	44,071
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	255,063	166,941	160,740
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,988,976	3,261,210	3,466,513

回次	第31期 第2四半期 会計期間	第32期 第2四半期 会計期間
会計期間	自2019年 6月1日 至2019年 8月31日	自2020年 6月1日 至2020年 8月31日
1株当たり四半期純利益又は1株 当たり四半期純損失 ( ) (円)	1.33	0.10

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第31期及び第31期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第32期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため、記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業リスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響については、世界各国における感染拡大防止政策による経済活動の停滞等で、当社の事業活動及び収益確保に影響を及ぼす可能性が考えられることから、引き続き状況の変化を注視してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1)財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期累計期間における経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、経済状況は厳しい状況で推移しており、また、米中貿易摩擦や感染拡大の収束時期など不透明な状況であり、依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。また、ゴルフ業界においても、依然として新型コロナウイルスの感染拡大の影響からゴルフトナメントは大多数の試合が中止となり、一向に市場回復のめどがたたず不透明な状況にあると思われま

す。このような状況の中、当社はゴルフシャフト等の受注量の確保に傾注してまいりましたが、依然として景気回復の状況がみられず、前年を大きく下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高944,875千円（前年同四半期比34.2%減）となり、営業損失74,908千円（前年同四半期は営業利益55,480千円）、経常損失84,982千円（前年同四半期は経常利益23,118千円）、四半期純損失63,588千円（前年同四半期は四半期純利益20,767千円）となりました。

セグメントごとの経営成績については、下記のとおりであります。

当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフト等の製造販売を柱とし、ゴルフクラブ組立加工事業を行っております。

従って、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ175,449千円減少し、5,133,639千円となりました。

主な要因は、流動資産において、たな卸資産が110,162千円増加したものの、現金及び預金が205,303千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ16,964千円増加し、957,959千円となりました。

主な要因は、短期借入金が44,502千円減少したものの、仕入債務が57,354千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産については、前事業年度末と比べ192,414千円減少し、4,175,679千円となりました。

主な要因は、四半期純損失を63,588千円計上し、また、配当金支払い決議により129,330千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.3%となり前事業年度末と比べ1.0ポイント減少しました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ205,303千円減少し、3,261,210千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金は、174千円の獲得(前年同四半期は172,327千円の使用)となりました。

主な要因は、税引前四半期純損失が84,328千円となったものの、売上債権が61,577千円減少し、法人税等の還付額が29,711千円発生したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金は、20,376千円の使用(前年同四半期は20,294千円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が16,953千円発生したことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金は、166,941千円の使用(前年同四半期は255,063千円の使用)となりました。

主な要因は、短期借入金の返済44,502千円と配当金の支払い122,439千円が発生したことによるものであります。

## (3) 経営方針・経営戦略等

当社は、経営指標目標として「売上高営業利益率」を掲げておりましたが、各ゴルフクラブメーカーにおける事業活動の停滞によるゴルフシャフト等の受注量の減少があり、また、個人消費の減退の影響などから、売上高及び各段階利益が大きく減少することが見込まれております。新型コロナウイルス感染収束の状況や経済支援等の内容、景気回復の状況が不透明であるため、通期業績目標につきましては、算出が困難な状況となり、一旦経営指標目標数値等は、未定としております。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額は、4,982千円であります。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

### ア. 資金の需要の主な内容

当社の資金需要は、主に生産活動のための原材料費、労務費、製造経費、販売費及び一般管理費に係る運転資金及び生産性の向上のための設備投資資金等であります。

### イ. 資金の流動性及び調達の可能性

資金の流動性については、手許流動性の確保により不測の事態に対応できるようにしております。

資金の調達については、取引金融機関との良好な関係を維持しつつ、状況に応じて対応可能な体制となっております。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,782,400
計	27,782,400

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,945,600	6,945,600	東京証券取引所 (JASDAQ) (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,945,600	6,945,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	6,945,600	-	589,612	-	582,653

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
山田 拓郎	埼玉県日高市	934,400	14.44
高野 東治	埼玉県秩父市	406,000	6.27
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	360,000	5.56
山田 園子	埼玉県日高市	260,000	4.02
木本 裕二	埼玉県秩父市	199,900	3.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	182,000	2.81
杉浦 久夫	埼玉県飯能市	150,400	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	142,200	2.19
松田 喜良	埼玉県さいたま市西区	86,100	1.33
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	78,300	1.21
計	-	2,799,300	43.28

(注) 2020年7月27日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、アストマックス投信投資顧問株式会社が2020年1月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

大量保有者

住所

保有株券等の数

株券等保有割合

アストマックス投信投資顧問株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

株式 335,800株

4.83%

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 479,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,464,600	64,646	-
単元未満株式	普通株式 2,000	-	1単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	6,945,600	-	-
総株主の議決権	-	64,646	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

## 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社グラフィイトデザイン	埼玉県秩父市太田 2474番地1	479,000	-	479,000	6.89
計	-	479,000	-	479,000	6.89

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,466,513	3,261,210
受取手形及び売掛金	424,062	362,484
商品及び製品	183,597	258,784
仕掛品	83,315	96,954
原材料及び貯蔵品	53,396	74,732
未収還付法人税等	29,711	-
その他	16,751	18,472
貸倒引当金	422	360
流動資産合計	4,256,924	4,072,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	553,892	532,283
土地	195,701	195,701
その他(純額)	68,099	76,167
有形固定資産合計	817,693	804,152
無形固定資産	36,064	33,799
投資その他の資産	198,407	223,410
固定資産合計	1,052,164	1,061,361
資産合計	5,309,089	5,133,639
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,423	207,777
短期借入金	354,502	310,000
未払法人税等	6,780	6,948
賞与引当金	37,997	38,626
その他	87,315	72,398
流動負債合計	637,019	635,751
固定負債		
退職給付引当金	62,474	70,719
役員退職慰労引当金	162,942	172,247
資産除去債務	78,558	79,241
固定負債合計	303,975	322,208
負債合計	940,995	957,959

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	3,619,257	3,426,338
自己株式	423,456	423,456
株主資本合計	4,368,066	4,175,147
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27	531
評価・換算差額等合計	27	531
純資産合計	4,368,093	4,175,679
負債純資産合計	5,309,089	5,133,639

## (2)【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,436,739	944,875
売上原価	816,541	516,718
売上総利益	620,197	428,157
販売費及び一般管理費	564,717	503,065
営業利益又は営業損失( )	55,480	74,908
営業外収益		
受取利息	932	165
受取配当金	529	531
貸倒引当金戻入額	-	61
雇用調整助成金	-	11,085
雑収入	2,999	4,036
営業外収益合計	4,460	15,880
営業外費用		
支払利息	1,126	1,083
為替差損	35,624	24,824
雑損失	71	47
営業外費用合計	36,822	25,954
経常利益又は経常損失( )	23,118	84,982
特別利益		
固定資産売却益	1,824	714
保険解約返戻金	11,080	126
特別利益合計	12,904	841
特別損失		
固定資産除却損	11	186
特別損失合計	11	186
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	36,010	84,328
法人税、住民税及び事業税	19,619	1,775
法人税等調整額	4,375	22,515
法人税等合計	15,243	20,740
四半期純利益又は四半期純損失( )	20,767	63,588

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	36,010	84,328
減価償却費	45,463	41,623
保険解約返戻金	11,080	126
貸倒引当金の増減額( は減少)	251	61
受取利息及び受取配当金	1,461	696
支払利息	1,126	1,083
為替差損益( は益)	24,287	18,158
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	3,436	9,305
退職給付引当金の増減額( は減少)	11,605	8,245
賞与引当金の増減額( は減少)	600	628
固定資産売却損益( は益)	1,824	714
固定資産除却損	11	186
売上債権の増減額( は増加)	252,457	61,577
たな卸資産の増減額( は増加)	93,640	110,162
仕入債務の増減額( は減少)	73,112	57,354
その他	57,650	28,468
小計	106,906	26,395
利息及び配当金の受取額	1,460	696
利息の支払額	1,027	1,119
法人税等の支払額	65,853	2,718
法人税等の還付額	-	29,711
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>172,327</b>	<b>174</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	40,919	14,121
無形固定資産の取得による支出	10,518	2,832
有形固定資産の売却による収入	2,189	714
保険積立金の積立による支出	4,657	4,753
保険積立金の解約による収入	33,134	126
貸付金の回収による収入	476	488
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>20,294</b>	<b>20,376</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額( は減少)	94,502	44,502
配当金の支払額	160,561	122,439
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>255,063</b>	<b>166,941</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,287	18,158
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	471,973	205,303
現金及び現金同等物の期首残高	3,460,949	3,466,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,988,976	3,261,210

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症による影響)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社の関連事業において取引先からの受注量減少による影響が生じております。

このような事業環境のもと、2021年2月期は一時的な需要の低下が生じるものの、販売先の地域における新型コロナウイルス感染症の収束や経済活動の再開に伴い、需要は徐々に回復すると仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(四半期貸借対照表関係)

期末日満期手形の処理

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
受取手形	2,447千円	-

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
広告宣伝費	110,010千円	98,503千円
給与手当	111,085	114,667
賞与引当金繰入額	19,087	18,400
役員退職慰労引当金繰入額	8,837	9,305
退職給付費用	10,974	9,099
研究開発費	3,537	4,982
減価償却費	26,980	25,667

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	2,988,976千円	3,261,210千円
現金及び現金同等物	2,988,976	3,261,210

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	160,738千円	25円	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月29日開催の取締役会の決議に基づき、2019年6月13日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式37,000株の処分を実施いたしました。この結果、前第2四半期累計期間において利益剰余金が15,355千円減少、自己株式が32,708千円減少し、前第2四半期会計期間末において利益剰余金が3,594,693千円、自己株式が423,456千円となっております。

当第2四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	129,330千円	20円	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフトの製造販売を柱とし、その他ゴルフクラブ組立加工を行っております。

従って、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	3円22銭	9円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	20,767	63,588
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	20,767	63,588
普通株式の期中平均株式数(株)	6,445,623	6,466,536

(注) 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月8日

株式会社グラフィイトデザイン

取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 寺田 聡 司 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 宮之原 大 輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グラフィイトデザインの2020年3月1日から2021年2月28日までの第32期事業年度の第2四半期会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グラフィイトデザインの2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。